

目指せ山田錦日本一の産地!

平成27年度「反省会&忘年会」を開催



FANアワード2015ダブル受賞 森民夫長岡市長に報告

生産者通信

NPO法人
米ニケーションセンター
定価 100円(送料込)



《写真①》

12月1日、長岡シティホールアオーレ長岡にて、協議会として初めての反省会と忘年会を開催しました。反省会には85名、忘年会には50名が参加しました。《写真①》

協議会を代表して、岩淵忠男会長から、「昨年天候に恵まれ、品質・収量がまずまずの結果でした。2年目は天候の影響、8月のお盆過ぎから9月10日ま



《写真②》

での日照不足、低温の影響をうけた。50年米づくりをしてきたが、天候に左右されるのは農家の宿命。今年の反省を材料にして品質・収量を高める栽培を続けていこう」と力強い挨拶がありました。

又、協議会の山田錦栽培の取り組みが、フード・アクション・ニッポンアワード2015の農林水産分野の優秀賞を受賞、「皆様の山田錦への取り組みが評価された」と紹介をしました。

○平成27年産を振り返る
続いて、(株)金内神命堂の金内正浩社長を



《写真③》

コーディネーターとして、淡路良一先生、内山慶司先生、岩淵忠男会長の4名で、パネルディスカッションを行いました。

今年の栽培ポイントを振り返りながら、淡路先生が解説をして栽培の基本を今一度見直しました。

又、質疑応答では参加者からの質問に対してパネリストが対応していました。《写真②》

○森市長への受賞報告
反省会最後に、森民夫市長にご来場いただき、フード・アクション・ニッポンアワードで【優秀賞】と【食べて



《写真④》

応援しよう!賞(エコ・ライス)の非常食・わかめご飯が受賞】を受賞したことを報告。森市長からお祝いとして、「ダ

旭酒造株式会社・桜井社長からメッセージ

農林水産省主催の「フード・アクション・ニッポンアワード2015」において優秀賞受賞、誠にありがとうございます。

新潟の米農家の皆様にとって山田錦は新しい未経験の酒米です。皆様方が、新潟において山田錦の栽培に果敢に挑戦いただき、新しい山田錦の歴史を造りつつあることについて、心から敬意を表します。

また、昨年の3千俵に続き、今年も7千俵近い山田錦を瀬祭用の酒米として納入頂ける運びとなりました。ありがたく感謝しております。

今年は、秋の天候に災いされ、当初期待していた数量に届かなかったことは残念ですが、この経験を奇貨としてさらなる栽培技術の発展と進化を遂げられることを確信しております。

ブル受賞のお祝いの会ではなく、『反省会』というのが実に良い。今回の受賞をステップにさらに飛躍してほしい。」とお祝いと激励を受けました。

最後に森市長を囲んで生産者全員で記念撮影。《写真③》

○大いに盛り上がった懇親会
会場を長岡グランドホテルに移し、苦労した2年目を振り返りました。《写真④》